



# しんろだより

12月6日 Vol 9  
県立米子養護学校  
進路指導部 発行

『18歳で自立できる人間を育てる』

## 高等部1・2・3年生の現場実習を終えて

高等部全員を3グループに分け、10月8日から11月21日まで行った現場実習が終わりました。1年生にとっては初めての校外での実習でした。事前に通勤や何かあった時の電話のかけ方、あいさつや報告の仕方等の練習をして臨み、体調を整え、まずは10日間やり切ることが目標です。2年生は落ち着いて仕事や活動に取り組み、作業スキルや集中力をアップさせるとともに、自分の適性について保護者や担任と一緒に考えることが目標です。3年生は、卒業後の利用にスムーズに移行していくために、実際の時間に合わせて、作業時間を長くしたり、送迎を利用したりするなど、できる限り卒業後の生活に近づけて行いました。社会・職業コースの3年生は、自分が希望する事業所へ就労できるかどうか、就職試験のつもりで臨みました。

実習後は、自分の目標について振り返り、担任と今後の学習や生活で頑張ることを確認しました。そして、報告会を開き、みんなの前で発表しました。みんなの前に立つ生徒の顔は、実習をやり切った自信が感じられ、一回りたくましくなったように思います。

### 3年生 仕事や活動、生活の定着を目指した実習



身支度は入念に



新たな仕事に挑戦！



作業にあった私服の練習



作業スピードもアップ！

### 〈 成果 〉

- 調子が悪くなったとき、自ら進んで受診し、欠席することなく実習を終えた。
- 公共交通機関や送迎車を使い、自分で通勤することができた。
- 実習先の方の指示を聞き、時間いっぱい作業を頑張ることができた。
- 学校への電話（もらい物、送迎場所へ無事到着）をすることができた。
- 実習先の方へ元気な声であいさつや返事をすることができた。
- スケジュールや時計を見ながら作業時間に遅れることなく休憩ができた。
- 自分から報告や質問をすることができた。
- 3年生は、一度体験した実習先で職場の方と話し、和やかに過ごすことができた。
- 3年生は、実習先での前回の課題に前向きに取り組むことができた。

### 〈 課題 〉

- 朝ご飯を食べて行かずに体調が悪くなる。
- 雨天時、傘をさしたり、かっぱを着たりせず、濡れたまま実習先に行く。
- 送迎バスが遅れた時、その場で待たず歩き出す。また、遅れたとき学校、事業所へ連絡をしなかった。
- あいさつ、返事の声が小さい。自分からあいさつできない。
- 意思表示はできるが、お礼やお詫びが自分から言えない。
- 借りた白衣を洗って返さず、ロッカーに置いて帰った。
- 休憩時間以外に何度もトイレに行く。
- 立ち仕事で、体力がなく立ち姿勢が崩れてしまう。
- 準備や後片付けが進んでできない。
- 苦手意識から体調を崩しやすくなる。